

愛知学院大学歯学・薬学図書館情報センター

Aichi Gakuin University Dental and Pharmaceutical Library and Information Center

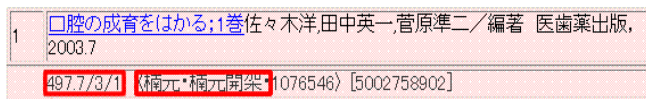
〒464-8650 名古屋市千種区楠元町1-100 TEL052-751-2561(内線1606~1608) <http://www.slib.aichi-gakuin.ac.jp/>

図書館資料の整理・整頓が進みました

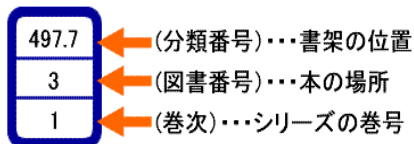
資産図書と消耗図書の「請求記号」の統一ができました

所蔵があった資料を見つけるには？

本は請求番号の順に並んでいます。書架壁面の請求番号表や、台本板の表記を見て配架場所をご確認ください。



↑ 請求番号(本の背ラベル) ↑ 配架場所



左の図は、歯学・薬学図書館情報センターHPの蔵書検索画面で「口腔の成育をはかる」の第1巻を検索して、この本がどの書架にあるかを見つける方法を説明したものです。

この図のように本は、背ラベルにある「請求記号」の分類番号順に並んでいます。本学では、分類番号は、日本十進分類法(NDC)新訂7版に準拠していましたが、この新訂7版は、昭和36年に改訂されたもので、実状にあっていませんでした。

そこで、歯学・薬学図書館情報センターでは、平成16年4月受け入れ資料から「NDC」9版に準拠し、「歯科学」の細分化を図り、資料の整理・整頓をしました。3年掛りで「歯科学」の細分化を一部遡及し、消耗図書の請求記号を修正し、整理がほぼ完成しました。

平成19年1月の利用状況

(1)開館日数及び入館者数(昼間・9:00~16:45、夜間・16:45~19:00)

	開館日数		入館者数		合計
	昼間	夜間	昼間	夜間	
楠元	20	17	6,301	1,580	7,881
末盛分室	20	17	4,517	3,257	7,774
合計			10,818	4,837	15,655

学外利用者(登録なし)	楠元	6名	末盛分室	1名
-------------	----	----	------	----

(2) 帯出冊数

	教職員	学生	その他登録者	合計
冊数	147	885	3	1,035

(3) 帯出人数

	教職員	学生	その他登録者	合計	
人数	65	298	2	365	
「学生」のうち		歯学部学生	203	薬学部学生	25

	(4)-1文献相互貸借依頼件数		(4)-2図書・雑誌貸借依頼件数	
	件数		件数	
学外受付	150 (66)	学外貸出	0 (0)	
学外依頼	156 (7)	学外借受	0 (0)	
合計	306 (73)	合計	0 (0)	

※()内数字は大学図書館以外

平成19年1月の統計上の入館者は、左表のように15,655名で昨年の12,940名に対して2,715名の大幅な増加になりました。これは、昨年までの歯学部ほかに、薬学部の利用者が増えたことによるものだと思います。帯出冊数は昨年と比べて106冊増加しましたが、帯出人数は277名減少しました。

このごろは本以外のインターネット等によって必要な情報を入手できることが、帯出人数の減少に繋がっていると思います。さまざまな情報源のなかから、利用者が必要な情報を探索し、評価し、活用できる能力を高めることのできるようなサービスを充実したいと思います。

○「AGUD・P Library News」の紙での発行を縮小し、紙の配付を休止しています

「<http://www.slib.aichi-gakuin.ac.jp/LN/LibraryNews.htm>」をご覧ください。創刊号から見られます。

1月26日の歯学・薬学図書館情報センター運営委

3月から新年度の図書購入伝票受付

員会で了解を得て、平成19年度図書購入依頼伝票を3月1日から受付けることにして、歯学部・薬学部の講座に通知しました。学内の方は詳細を、歯学・薬学図書館情報センターHP「館内情報」<http://www.slib.aichi-gakuin.ac.jp/insideonly/kannai/kannaijoho.htm>からご覧いただけます。これは、愛知学院大学「商議員図書予算に係る図書購入について」という取り決めに基づくものです。

学生の希望図書の購入依頼を受付けています。

リサイクル図書が活用されています

歯学・薬学図書館情報センターでは、平成16年4月受け入れ資料から新しい「NDC」9版に準拠することとし、図書館資料の整理・整頓をしてきましたが、その一環として平成18年度は、古くなった図書を積極的に廃棄しました。

廃棄処理が完了した図書は、リサイクル図書として、必要な方に提供しています。「AGUD・P Library News No. 20」でもお知らせしました、第1回目の提供は、末盛分室の歯科臨床関係の廃棄図書が対象でしたので、非常勤講師の先生に多く貰い受けていただきました。

1月に廃棄した、書庫にあった複本は、HPでリサイクル図書の提供を知った、大学の教員と小学校の教員のご夫婦に医学書を多く持って行っていただきました。

街の本学卒業生の歯科医院や薬局で、「先生の大学で古い本を貰ったよ」というような会話が患者さんや利用者と交わされることを期待しています。

3回目の廃棄図書の一部は、薬学部棟で活用していただくことになりました。

歯学・薬学図書館情報センターでは

図書の廃棄に関する基準を考えました

歯学・薬学図書館情報センターでは図書の廃棄の基準を考え、1月26日の運営委員会で、了解を得て、平成19年度の指定図書の依頼とともに、歯学部・薬学部の講座に通知しました。それは、次のとおりです。

1. 「教科書コーナー」及び「PBL教育図書コーナー」には、当該年度の図書をおき、前年度のものは、「開架書架」に移す。
2. 「当該年度指定図書コーナー」には、当該年度

の図書をおき、前年度のものは、「各講座別指定図書コーナー」に移す。

3. 「各講座別指定図書コーナー」の図書の配架は、5年を目処とし、6年目からは「開架書架」に移す。すでに「開架書架」に同一図書が5冊以上ある場合には廃棄する。

4. 「開架書架」の配架の基準は、15年とし、それ以前のもの、原則として書庫に1冊のみ保存し、廃棄する。

5. 改版された図書の旧版は、原則として書庫に1冊のみ保存し、廃棄する。

魅力的な蔵書を構築していくために、日進の図書館情報センターとも連携をとりながら、選書や蔵書構築の基準を成分化したいと思います。

小説を著者順に配架しました

資料の整理・整頓の一環として、小説(分類番号913)を著者順に並べました。歯学・薬学図書館情報センターは、医療系専門図書館の性格が強いので、文学は資料の特に少ない分野です。

しかし、歯学生や薬学生も小説に親しむ環境を少しでも整えるために、子ラベルを活用しました。

日進・図書館情報センター休館中

できる限りのサービスを代行します

ご案内のように、日進の図書館情報センターが平成19年2月15日(木)から3月12日(月)の期間、蔵書点検に伴い閉館となります。

その間、楠元の歯学・薬学図書館情報センターでは、できる限りのサービスを代行します。しかし、日進の図書館情報センターの資料を歯学・薬学図書館情報センターから借受けることはできません。他館からの資料の借受けや文献複写依頼等は、歯学・薬学図書館情報センターカウンターで対応します。日進キャンパスの学生も利用してください。

ただし、歯学・薬学図書館情報センターの平日閉館時間は19時です。